

組織がつながると 救える人が 増えていく



災害中間支援組織設立フォーラム

災害時、本当に必要な支援とは何か。

「被災者支援とは何か、どうあるべきか」を災害支援に関わる全ての方と一緒に考え
被災地に生じる様々なニーズや課題に対して、
行政とボランティア団体・NPO・企業等が連携し
被災者一人ひとりに寄り添う支援のあり方を考えます。

参加無料 || 事前予約制 先着順

ご予約はこちらから



※ 定員になり次第募集を締め切ります

日時 **2026 9/10 木 13:30~16:30**

開催場所 **栃木県総合文化センター
特別会議室** 〒320-8530 栃木県宇都宮市本町 1-8

主催 栃木県

プログラム紹介

オープニング

講演

テーマ なぜ今、災害中間支援組織が必要なのか

災害時に本当に必要なのは、被災者一人ひとりに寄り添う支援です。

本フォーラムでは、行政の役割や被災者支援のあり方を学び、行政・民間・社会福祉協議会が連携することの重要性や、それぞれの役割について理解を深めます。災害時の多様な課題に対し、官民が協働する支援体制のあり方を参加者とともに考えます。

パネルディスカッション

ファシリテーター 神元 幸津江 (認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOD))

登壇者

- ・古越 武彦
- ・神元 幸津江 (認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOD))
- ・災害中間支援組織関係者

内容

- 他県の事例を参考に、本県における災害支援のあり方を考える
- ・他県の経験から考える、平時から備えておくこと
 - ・災害時に円滑に活動できた事例、困難だった事例
 - ・平時からの連携、関係づくりについて など

分科会

事例を学びつつ、災害時の自団体の役割を考えるワークを実施します。

あなたの活動における「災害支援」の可能性を見つけよう

ファシリテーター / 講師

古越 武彦
神元 幸津江
(認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOD))

災害時におけるこども支援を考えよう

ファシリテーター / 講師

小野 道子
(NPO法人災害時こどものこころと居場所サポート代表)
廣田 宣子
(NPO法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト災害支援事業担当チーフ)

外国人の視点から災害時の課題を考えよう

ファシリテーター / 講師

高木 和彦
(NPO法人多文化共生マネージャー
全国協議会副代表理事)

終了

開催場所のご案内

栃木県総合文化センター 特別会議室 〒320-8530 栃木県宇都宮市本町 1-8

アクセス



バスをご利用の場合

「県庁前」「東武駅前」停留所下車 徒歩で約3分
(関東バス) 細谷車庫、駒生営業所行きなど



電車をご利用の場合

JR 宇都宮線
JR 宇都宮駅(西口)下車 バスで「県庁前」下車 徒歩で約3分
または タクシーで約5分(約1,600m)

東武宇都宮線
東武宇都宮駅下車 徒歩で約10分(約700m)

※ 公共交通機関をご利用ください。

共通テーマ

災害時の課題を、一つでも多く解決するために!



講師紹介

古越 武彦氏

長野県災害時支援ネットワーク共同代表。
認定特定非営利活動法人長野県NPOセンター
災害支援事業統括。
元長野県職員。長野県職員30年のうち、後半15
年間を危機管理・防災関連の業務に従事。
2022年3月に早期退職し、全国災害ボラン
ティア支援団体ネットワーク(JVOD)に入職。
2023年4月に長野県の災害中間支援組織であ
る「長野県災害時支援ネットワーク(N-NET)」の専
従として長野県NPOセンターに入職。
長野県域における被災者支援のための様々な事
業に取り組んでいる。

